

総合計画策定市民会議 第1回専門委員会 会議録

【子育て・教育】

開催日時	平成 25 年 5 月 16 日（木）午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
開催場所	勤労者会館 2 階 大会議室
出欠状況	総委員数：12 名、事務局 2 名、コンサルタント 1 名 欠席委員：なし
会議の概要	
	進行：副部長 倉 智彦 
開会	(副部長)
あいさつ (榎原 部長)	皆さん、お疲れ様です。 本日の会合は、前回話し合っていた「市の良いところ」と「良くないところ」をもとに、「良いところは伸ばす方策」を「悪いところは改善する方策」を考えることがテーマになっています。 前回までのご意見をまとめた資料が配布されていますが、もっとご意見もあろうと思います。お気づきの点のご意見いただくよう、お願いします。
コンサルタント	前回のワークショップでは、子育て・教育分野における“市の良いところ”“市の良くないところ”についてご意見をいただいています。今日の作業内容は、“理想とする子育て・教育の姿”を実現するために、良いところは伸ばし、悪いところは改善する方策を見つけていこうとするものです。

そのためには、カテゴリ分類した内容のさらなる集約化を図り、取り組むべき方向性を見出していくことが必要になってきます。

資料に基づき、分類項目ごとに似通った内容の集約化を進めましょう。

～ワークショップ（前回の続き）～

- ①追加意見の分類作業
- ②カテゴリ別の方向性の集約化



カテゴリ：保育・幼児教育

（方向性のキーワード）

- ・母親の子育て能力を高めていく必要性
- ・ソフト面を充実させていく必要性、それには行政だけの力では限界
- ・保育士の役割、資質向上が求められている現実
- ・生きる力を育む教育の必要性

カテゴリ：子育て支援

（方向性のキーワード）

- ・施設を充実させた後の人と人の関わりをどうするか。
- ・支援センターに来ないお母さんたちをつれてくるにはどうしたらよいか？
- ・生まれた時から子どもに関心を持つ、母親への教育の必要性
- ・相談業務のワンストップ窓口化の必要性
- ・子育て支援とはどこまでやればよいのか。親の甘えや子育て力の低下につながるらないか？
- ・私立幼稚園の良さとは？（教育に重点を置いているところ？）

- ・保育士への教育が重要（→発達障がいなどさまざまな研修を実施し、その内容を共有することを心がけている。）

カテゴリ：小・中・高

（方向性のキーワード）

- ・不登校に関して、一番の原因は両親（家庭）に起因してはいないか。
- ・マンモス校であることの弊害
- ・体罰は時として生き抜く知恵をつけるために必要とされないか
- ・学校教育の限界、では家庭教育とは何か
- ・子どもと教師の信頼関係をどうつくるか
- ・生徒指導より親指導が必要ではないか？
- ・「生きる（生きぬく）力」の育成、“ずなくなる”=打たれ強い子に育てるには？
- ・体罰は受ける人の感覚がすべて。信頼のない状態や感情に任せての暴力は論外だが、一括りに悪としてよいのか？熱意ある教師の排除につながるのではないか？

（※時間の関係で以降は次回へ）

事務局

議論は尽きませんが、方策を考えていくための取り組みの方向性に関して、皆さんから多くのキーワードをいただきましたので、事務局である程度「テーマ」の絞り込みをさせていただきたいと提案します。

その資料を事前に配布し、次回の会議までには委員それぞれが、テーマに基づいて方策を考えておけば、時間のロスも無く、意見交換できる時間も多くなってくると思います。

（全員承認）

部会長

それでは、事務局から提案のあったとおり、事前に送付された資料をもとに、委員は考えをまとめてみましょう。

今回は、6月20日（木）午後7時からこの会場で開催します。宜しくお願いします。

本日は、これをもって閉会と致します。お疲れ様でした。

<総合計画策定市民会議事務局>

東御市 総務部 企画課 企画政策係（総合計画担当）

電話：64-5893（直通）

Eメール：kikaku@city.tomi.nagano.jp